



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)旭区下川井PJ	階数	地上3F
建設地	横浜市旭区下川井町99.99-3.104-1.97-1.94-3	構造	S造
用途地域	第2種住居地域、準防火地域、市街化区域内	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年9月 竣工	評価の実施日	2021年10月26日
敷地面積	1,788 m ²	作成者	大和ハウス工業㈱横浜支社
建築面積	948 m ²	確認日	2021年10月27日
延床面積	2,668 m ²	確認者	大和ハウス工業㈱横浜支社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.7

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項	
総合	・室内環境、サービス性能、敷地内外環境、エネルギー、資源マテリアルへの配慮を行う
その他	
Q1 室内環境	・開口部遮音、昼光率、昼光制御、自然換気有効開口、受動喫煙への配慮
Q2 サービス性能	・個室広さへの配慮、給排水配管への配慮
Q3 室外環境(敷地内)	・緑地、屋上庭園を設置
LR1 エネルギー	・BPI=0.72
LR2 資源・マテリアル	・節水への配慮、リサイクル材を活用、有害物質を含まない防水工事プライマーの採用、押出法*リフレフォーム採用
LR3 敷地外環境	・LCCO ₂ 排出率=90% ・光害対策: チェックリストの一部を満たす、広告物照明無し

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



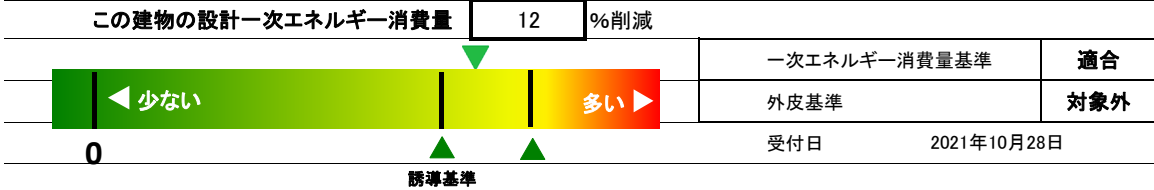
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)旭区下川井PJ

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 2

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①BPIm=0.72

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 3

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑩共用部: 1階食堂・談話室兼機能訓練室3.75%、宿泊部: 各階居室0.90%

⑪自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰給排水配管は上位3種がB以上、Eは不使用

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 2

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.7
(仮称)旭区下川井PJ

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
			<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									2.6
Q1 室内環境									3.1
1 音環境					2.9	0.15	2.8	1.00	2.8
1.1 騒音					3.0	0.40	3.0	0.40	-
1.2 遮音					3.8	0.40	3.6	0.40	-
1 開口部遮音性能					5.0	0.40	5.0	0.30	-
2 界壁遮音性能					3.0	0.60	3.0	0.30	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-	3.0	0.20	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-	3.0	0.20	-
1.3 吸音					1.0	0.20	1.0	0.20	-
2 温熱環境					3.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御					3.0	0.50	3.0	0.50	-
1 室温					快適・働きやすさ	3.0	0.38	3.0	0.57
2 外皮性能					快適・働きやすさ 健康・安心	3.0	0.25	3.0	0.43
3 ゾーン別制御性					快適・働きやすさ	3.0	0.38	-	-
2.2 湿度制御					快適・働きやすさ	3.0	0.20	3.0	0.20
2.3 空調方式					快適・働きやすさ	3.0	0.30	3.0	0.30
3 光・視環境					3.3	0.25	3.3	1.00	3.3
3.1 屋光利用					4.2	0.30	3.0	0.30	-
1 屋光率					快適・働きやすさ	5.0	0.60	3.0	0.60
2 方位別開口					快適・働きやすさ	-	-	-	-
3 屋光利用設備					快適・働きやすさ	3.0	0.40	3.0	0.40
3.2 グレア対策					3.0	0.30	4.0	0.30	-
1 屋光制御					快適・働きやすさ	3.0	1.00	4.0	1.00
3.3 照度					快適・働きやすさ	3.0	0.15	3.0	0.15
3.4 照明制御					快適・働きやすさ	3.0	0.25	3.0	0.25
4 空気環境					3.4	0.25	3.1	1.00	3.3
4.1 発生源対策					3.0	0.50	3.0	0.63	-
1 化学汚染物質					快適・働きやすさ	3.0	1.00	3.0	1.00
4.2 換気					3.0	0.30	3.3	0.38	-
1 換気量					快適・働きやすさ	3.0	0.50	3.0	0.33
2 自然換気性能					快適・働きやすさ	-	-	4.0	0.33
3 取り入れ外気への配慮					快適・働きやすさ	3.0	0.50	3.0	0.33
4.3 運用管理					5.0	0.20	-	-	-
1 CO ₂ の監視					快適・働きやすさ	-	-	-	-
2 喫煙の制御					快適・働きやすさ	5.0	1.00	-	-
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.0
1 機能性					3.0	0.40	4.2	1.00	3.4
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40	5.0	0.60	-
1 広さ・収納性					快適・働きやすさ	-	-	5.0	1.00
2 高度情報通信設備対応					快適・働きやすさ	-	-	-	-
3 バリアフリー計画					快適・働きやすさ	3.0	1.00	-	-
1.2 心理性・快適性					3.0	0.30	3.0	0.40	-
1 広さ感・景観					快適・働きやすさ	-	-	3.0	0.50
2 リフレッシュスペース					快適・働きやすさ	-	-	-	-
3 内装計画					快適・働きやすさ	3.0	1.00	3.0	0.50
1.3 維持管理					3.0	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計					快適・働きやすさ	3.0	0.50	-	-
2 維持管理用機能の確保					快適・働きやすさ	3.0	0.50	-	-
2 耐用性・信頼性					3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震					3.0	0.50	-	-	-
1 耐震性					防災	3.0	0.80	-	-
2 免震・制振性能					防災	3.0	0.20	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数					3.2	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数					防災	3.0	0.20	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					防災	2.0	0.20	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					防災	3.0	0.10	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					防災	3.0	0.10	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔					防災	5.0	0.20	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔					防災	3.0	0.20	-	-
2.4 信頼性					3.0	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備					防災	3.0	0.20	-	-
2 給排水・衛生設備					防災	3.0	0.20	-	-
3 電気設備					防災	3.0	0.20	-	-
4 機械・配管支持方法					防災	3.0	0.20	-	-
5 通信・情報設備					防災	3.0	0.20	-	-
3 対応性・更新性					2.6	0.30	2.4	1.00	2.5
3.1 空間のゆとり					1.8	0.30	1.8	0.50	-
1 階高のゆとり					1.0	0.60	1.0	0.60	-
2 空間の形状・自由さ					3.0	0.40	3.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.30	3.0	0.50	-
3.3 設備の更新性					3.0	0.40	-	-	-
1 空調配管の更新性					3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性					3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性					3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.20	-	-	



CASBEE横浜2017年版v.1.7
(仮称)旭区下川井PJ

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	1.7
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-	1.0		
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	2.0	0.40	-	-	2.0		
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-	2.0		
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	⑫地域性への配慮	2.0	0.50	-	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.1		
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.2		
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-	5.0		
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	3.0		
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	2.6	0.50	-	-	2.6		
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0		
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	-		
	4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-		
	4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-		
	集合住宅の評価			-	-	-	-	-		
	4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-		
	4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.2		
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4		
1.1 節水				4.0	0.40	-	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-		
	1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	-		
	2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				3.0	0.60	-	-	3.0		
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.20	-	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.20	-	-	3.6		
3.1 有害物質を含まない材料の使用				4.0	0.30	-	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避				3.5	0.70	-	-	-		
	1 消火剤			-	-	-	-	-		
	2 発泡剤(断熱材等)			4.0	0.50	-	-	-		
	3 冷媒			3.0	0.50	-	-	-		
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.1		
1 地球温暖化への配慮				3.3	0.33	-	-	3.3		
2 地域環境への配慮				2.8	0.33	-	-	2.8		
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.5	0.25	-	-	-		
	1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-		
	2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-		
	3 交通負荷抑制			1.0	0.25	-	-	-		
	4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-		
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-		
	1 騒音			3.0	1.00	-	-	-		
	2 振動			-	-	-	-	-		
	3 悪臭			-	-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-	-		
	1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-		
	2 砂塵の抑制			-	-	-	-	-		
	3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	-		
3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-	-		
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			4.0	0.70	-	-	-		
	2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-		
上記以外の重点項目					-	-	-	-		
<事務用途>					-	-	-	-		
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-		
<住宅用途>					-	-	-	-		
健康と安心					-	-	-	-		
1 化学汚染物質の対策		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-		
2 適切な換気計画		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-		
3 結露・カビ対策		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-		
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑦防犯対策	-	-	-	-	-		